



わがち・つむぎあい

同じこの地球に生まれてきて、たまたま
こころの病にかかった、あるいは病気の
子供さんの親であったというだけで、
どうして そんな辛い思いをしなければ
ならないのか？



精神障害をはじめとする障害者の方に、偏見や症状からくる苦しみをわかちあい、
楽しみをつむぎあいたい。こころの病への偏見をなくしたい。

悲しみをわかちあう



ピアサロン
家族会
病院施設訪問
認知症カフェ
(あんず)



楽しみをつむぎあう

うたごえ喫茶
バルーン教室
地域貢献活動



介護・医療職の
スキルアップ・ストレス軽減
プレゼン研修・倫理研修
看護管理研修・こころの病気に関する研修 など



介護看護職の方と共に学ぶ

1. 偏見にさらされやすい方々に、一般市民と交流できる場を企画し、一般市民の中で自然に共生できる風土を地域に根付かせたい。
2. 障害をお持ちの方およびその家族、高齢者に、各当事者同士が相互交流を図り、心の健康の増進に寄与したい。
3. ストレスにさらされやすく、離職率も高いとされている介護医療従事者に、各種講習会を通じ、スキルアップとストレス軽減に寄与したい。



特定非営利活動法人わがち・つむぎあい 平成28年の活動のご報告

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人わかち・つむぎあいは、患者及びそれらの家族等に対して、相互交流を図る事業を主に行い、生活していくうえでの気持ちに係る問題の改善や解決を図り、就業、生活意欲の向上と心の健康の増進に寄与することを目的として、下記の事業を実施いたしました。また、医療従事者の知識・技術の向上にも努めてまいりました。

法人の定款に沿い、第 5 条第 1 項の事業として①患者家族サポート事業②患者家族交流事業③医療福祉従事者教育事業を実施いたしました。

2 平成 28 年度活動の実際

① 患者家族交流事業

ア 地域住民うたごえ喫茶

毎月 1 回、在宅の患者家族を対象に、日常生活はほぼ自分で行えるが、今後、要介護状態になることを予防するため、患者家族が参加しやすい昭和初期から末期にかけての歌を中心に歌声喫茶を行いました。精神障がいの方、視覚障害の方にも参加いただいています。述べ 88 人の参加者数であり、参加者の拡大が今後の課題です。



イ 認知症オレンジカフェ事業

認知症の人や家族、支援する人達が参加して話し合い、情報交換等を行うことを目的として「認知症あんずカフェ」を開設しました。スタッフの大半が専門職であることで、相談できる場、介護経験者の話を聞いたり、悩みを打ち明けたりできる場であればと願ってきました。当初は参加者が伸び悩み集客に苦労しましたが、秋頃から徐々に参加者は増え、期末には1回あたりの参加目標の20人を超すことができました。述べ参加者134人。新聞にも取り上げられ今後ニーズはさらに増えると思われます。



イ クラウン養成講座事業

市民が主体的に各種イベントや家庭の中で笑いを提供できるよう、クラウンの養成講座を有料で行なってきました。毎月 1 回、共和駅前の café こもれびを利用してバルーン教室を行ないました。子供から大人、精神障がいのある人も参加を頂き、講座内はいつも笑いに溢れていました。新聞報道もされ、参加者は毎回 10 人以上であり、述べ 123 人の参加でした。



ウ 精神障害者家族サポート事業

在宅で生活している精神障がい者と、その家族のご相談を受け付けた。個別の相談ばかりであり、グループ化しての実施には至りませんでした。電話では5回、直接の面接を4回行いました。守秘義務を守りつつ、時に相談支援事業所との連携も行ってきました。

エ 精神障害者当事者研究事業

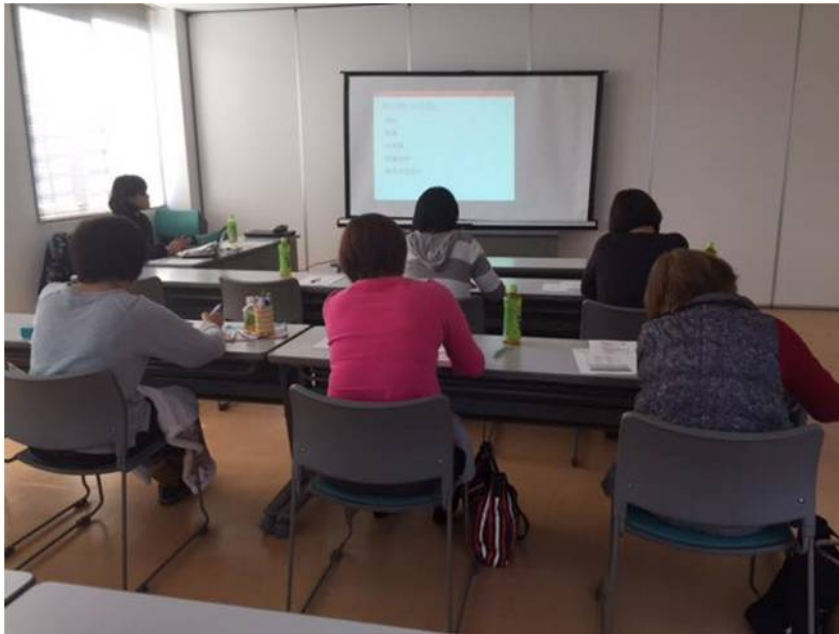
月に1度、カフェこもれびにて、「ピアサロン」を開催しました。当事者や支援者が立場をこえて、お茶を飲みながら自由に語り合う時間を共有しました。当事者が自分のことを自発的に話し合う機会の提供になっています。今後も口コミを中心に参加者の拡大をはかっていきたい。述べ参加者 55 人。



③ 医療福祉従事者教育事業

ア 看護師教育事業

精神科専門看護師、認定看護師が講師となり、3回に渡り「ワンポイントセミナー」を開催した。参加者の方からは、「基本的な対応方法がわかった」「具体的な事例をもとに説明があり、分かりやすかった」「温かい雰囲気勉強会で居心地がいい」などの感想をいただき、述べ21人の受講者を得ました。



イ 介護職教育事業

介護福祉士が講師になり、移動介助を中心に「目からうろこのワンポイントセミナー」と題し2回講義を開催しました。キネステティック技術を駆使した講義は好評価を得ました。

参加者の感想からは「今日のように力が入らなくてもできる介護技術が学びたいです、訪問介護はひとりで判断しなければならないので」と、好評を得ました。述べ参加者数8人。



多くの助成金、ご寄付を頂きありがとうございました

～寄付頂いた皆様～

特定医療法人共和会様・山本直彦様・加藤仁様・榎本和様・めい薬局様・
熊谷貴子様・三鬼ルミ子様・壺岐円様・前野哲也様・山田優美子様・
伊藤佐喜子様・西脇加壽子様・伊藤嘉代子様・木村徹様・(株) 浅井歯科研様・
加藤博明様・ユニオンホールディング株式会社様・安藤三津子様・
篠原正行様・株式会社ケアメイトサービス様・志水俊哉様・
加藤建築事務所様・加藤清美様・栗田恵美様

助成金元

平成 28 年度大府市協働のまちづくり推進基金(ひとまち応援基金)

その他地域の皆様からイベント時には 募金箱に多額のご寄付を頂きました

今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます

口座振り込み先

振込先

中京銀行 大府支店

店番号 318 普通預金 口座番号 5017550

特定非営利活動法人 わかち・つむぎあい 理事 松下直美

このパンフレットは平成 28 年度大府市協働のまちづくり推進基金(ひとまち応援基金)のご支援を頂き作成しております。

474-0071

大府市梶田町二丁目 123 番地

特定非営利活動法人 わかちつむぎあい

代表連絡先 ☎090-4211-0265 nmatsushita@tsumugiai.org

フェイスブック・ホームページ <http://www.tsumugiai.org/> 開設しております